

No.	140-010	事務事業名			テレビ・ラジオ広報事業	所 属 部	総務部
		0 7			新たな行政経営によるまちづくり	所 属 課	広報広聴課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり			課 長 名	緒方祐二
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進			所 属 G (係)	広報グループ
	基本事業名	0 4	行政運営の透明性の確保			電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 2	0 1	0 5	14010	広報広聴費	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年事業は全体像を記述)						事業期間	
鹿児島県内のテレビ・ラジオ局を經由して、市政情報・イベント情報を市内外に広く、タイムリーに発信する。テレビ局(MBC・KTS・KYT・KKB)の4社、ラジオ局(MBC・FM鹿児島)の2社からPRスポットを放送する。年間の放送内容計画 計画に基づく情報取材 放送原稿作成 放送局番組作成 放送						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年事業 ↳ (年度 ~ 年度)	
テレビについては15秒CM50回×4社。ラジオについては5分告知番組(MBC:毎週土曜日、FM鹿児島:毎週金曜日)で放送している。							

1 現状把握の部(DO)																																																	
(1) 事務事業の目的と指標																																																	
<p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動) 全体的な計画は20年度に同じであるが、テレビ告知については、放送回数及び放送時間帯の調整を行う。</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市の情報</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 知ってもらふ。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) 行政の活動内容が明らかになる</p>	<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>テレビ・ラジオ局</td><td>局</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>提供した情報の件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>放送回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	テレビ・ラジオ局	局	イ			ウ			名称		単位	ア	提供した情報の件数	件	イ			ウ			名称		単位	ア	放送回数	回	イ			ウ			名称		単位	ア	市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合	%	イ			ウ		
名称		単位																																															
ア	テレビ・ラジオ局	局																																															
イ																																																	
ウ																																																	
名称		単位																																															
ア	提供した情報の件数	件																																															
イ																																																	
ウ																																																	
名称		単位																																															
ア	放送回数	回																																															
イ																																																	
ウ																																																	
名称		単位																																															
ア	市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合	%																																															
イ																																																	
ウ																																																	

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
	千円					
事業内訳	財源内訳					
	国庫支出金					
	都道府県支出金					
	地方債					
	その他					
投入量	一般財源	千円	11,267	7,860	7,839	6,848
	事業費計(A)	千円	11,267	7,860	7,839	6,848
活動指標	ア	局	6	6	6	6
	イ					
	ウ					
対象指標	ア	件	110	113	120	108
	イ					
	ウ					
成果指標	ア	回	295	295	295	255
	イ					
	ウ					
上位成果指標	ア	%	53.1	54.2	61.1	62.0
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? テレビ・ラジオによる放送手段を活用し、市内外のより多くの方々に情報提供ができるよう平成17年度から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 予算削減がなされており、放送回数が減少しているため、必要な情報を選択し、内容の充実に努めている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から、各種イベント開催の情報入手ができる、との声をもらっている。	

事務事業名	テレビ・ラジオ広報事業	所属部	総務部	所属課	広報広聴課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 広報きりしま発行事務事業、ホームページ管理運営事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	受益者はテレビ・ラジオの視聴者であり行政側で対象者を増やすことはできないが、多くの方に市の事業へ参加、参画いただくために、今後ともわかりやすくかつインパクトのある放送内容に努める。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	140-020	事務事業名	ホームページ管理運営事業				所属部	総務部
							所属課	広報広聴課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	緒方祐二
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	広報グループ
	基本事業名	0 4	行政運営の透明性の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	0 5	14010	広報広聴費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市ホームページを管理運営する事業。市の行政情報を迅速、的確、効果的に提供するため、霧島市ホームページの掲載内容の充実を図る。具体的な手順としては、行政情報についての新規掲載、更新のページを各担当課が作成・決裁のうえ、総合管理者としての広報広聴課にホームページ掲載承認を依頼する。広報広聴課では最終確認し、ホームページに掲載する。また、各グループのホームページ担当者にホームページ作成操作研修を実施し、担当者のレベルアップに努めている。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	ページ数
霧島市議会インターネット中継の配信開始		イ	ホームページ作成研修開催回数
霧島市映像コンテンツギャラリーのテスト配信		ウ	ホームページ作成研修参加者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		単位	
国民、市民		ア	国民
		イ	市民
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市政情報を入手できる。		名称	
		単位	
		ア	トップページにアクセスした件数(月平均)
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
行政の活動内容が明らかになる		名称	
		単位	
		ア	市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	情報管理費				
		地方債	千円	で予算化				
		その他	千円		564	564	564	
		一般財源	千円					
事業費計(A)		千円	0	564	564	564		
活動指標		ア	ページ	1,000	1,102	1,300	1,500	
		イ	回	1	4	4	4	
		ウ	人	282	132	90	100	
対象指標		ア	千人	127,762	127,694	127,568	127,395	
		イ	人	127,615	127,773	127,450	128,383	
		ウ						
成果指標		ア	件	-	36,115	35,686	38,000	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	53.1	54.2	61.1	62.0	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市の情報をお知らせするため、平成12年に旧国分市が情報発信を始めた。以降、旧6町も相次いでホームページを開設し、情報発信してきた。合併後は暫定版ホームページを運用した後、平成19年1月29日に本格版として全面的なリニューアルを行った。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
パソコンの普及やインターネットの利用者数が急速に増加した。また、インターネット利用環境が高速回線になり、大容量のデータを送受信できるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
「韓国、中国との交流促進を考えると外国語のホームページ掲載を図るべきではないか」「ホームページを閲覧しない市民のことも考えるべきだ」「携帯サイト、動画を使ったホームページを充実すべきだ」という意見がホームページ閲覧者や市民から寄せられている。	

事務事業名	ホームページ管理運営事業	所属部	総務部	所属課	広報広聴課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市ホームページから市の情報を入手できることは、行政の活動内容が明らかになることに結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市が市政情報を提供するの、市の役割であり、市民に知らせる責務がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市ホームページは、すべての人に公開していることから、対象は適切である。また、市の情報を広く提供するためにやっている事業なので、意図も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ さらに手軽に情報を入手できるようにする工夫する必要がある。また、動画の配信など、より情報が伝わりやすいページ作りも考えていく必要がある。さらに、国際交流の観点から外国語表示のホームページ充実も考えていく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市民等が市の情報を入手する機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 広報きりしま発行事務事業、テレビ・ラジオ広報業務 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ すでに広報誌等の取材や情報提供資料を共有することで連携している。これにより、ホームページの情報充実が高められている。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費はソフトウェアの保守管理費、ホームページ操作の研修委託費用であり、専門的な知識を要するため削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 広報広聴課としての業務は、新規登録される情報の点検・調整業務を担っている。直接のデータ作成業務については、各課各グループにホームページ担当職員をおき、業務量を分散させている。ホームページの管理運営を外部委託すると、新たな費用が発生してしまう。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市ホームページはすべての人に公開していることから、受益機会は公平。また、市の情報を広く提供する事業なので、受益者負担を求める性格のものではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>市の情報を手軽に閲覧入手できるようにするために、市ホームページ携帯電話サイトの充実を図る必要がある。また、動画情報の提供も考えられる。さらに、市では国際交流を推進していることから、外国語掲載のホームページを検討していく必要がある。</p>
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<p><改革改善案> 携帯サイトはシステム上テキスト形式による情報提供に限られているが、市民が必要と思われる情報を増やすとともに動画の情報提供を検討していかなければならない。 英語、中国語、韓国語によるホームページの開設を観光課・国際交流グループなどの関係課と協議しながら進めていく。</p>																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 外国語版ホームページの開設には、外国語に翻訳しなければならない。そこで、自動翻訳ソフトを活用する方法、翻訳業者に委託する方法、CIR(市の国際交流員)に翻訳を依頼する方法、翻訳ボランティアに依頼する方法などが考えられる。少ない費用で資産の有効活用を考えるとCIRの活用が現在有力である。しかし、開設にあたっては外国語掲示が必要とするページに限って翻訳して掲載する方法も考えられる。限定したページに絞ることによって、時間と労力が節約できる。

No.	140-030	事務事業名	広報きりしま発行事業				所属部	総務部
							所属課	広報広聴課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	緒方祐二
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	広報グループ
	基本事業名	04	行政運営の透明性の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	05	14010	広報広聴費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
広報誌により行政の情報を市民に告知する。(カラー版年12回発行、2色刷版年10回発行) カラー版は主に市政の方針、計画に基づいた特集、歴史や自然、風土などを取り入れた記事、読者の声や人物などを紹介し、2色刷版は行政、各種団体からのお知らせ、出生・死亡の案内、保健情報を提供している。 特集においては年間計画をたて、それぞれの発行前には編集方針について編集会議を開き、情報提供内容の整理、取材先、内容の調整を行い、取材、写真撮影、原稿作成、レイアウト、校正を経て印刷を行う。納品後は自治会を通じた市民への配布、スーパーや公共施設への配置を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 26 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) カラー版28ページ 46,500部×12回発行 モノクロ版12ページ 46,000部×10回発行 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度に同じ		名称 ア 年間発行回数 イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 市内の世帯数 イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 霧島市に関する情報を入手することができる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 広報きりしまを読んでいる人の割合 イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 行政の活動内容が明らかになる		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合 イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	989	4,974	5,610	5,796		
		一般財源	千円	40,697	28,406	26,609	29,172		
事業費計(A)		千円	41,686	33,380	32,219	34,968			
活動指標		ア 回	22	22	22	22			
対象指標		ア 世帯	53,129	53,583	53,893	54,170			
成果指標		ア %	83	81	83	84			
上位成果指標		ア %	53.1	54.2	61.1	62.0			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市の情報を的確に伝えるため合併前から旧市町で行われていた。合併により広報きりしまとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文字による行政側の情報提供が主であったが、市政の情報に加え、自然や環境、読者参加型など、行政と市民が情報を共有できる広報誌に変化している。なお、平成20年度からより読みやすくするために文字を大きくした。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特集記事により興味を持って記事を読んでいる、写真が美しく記事が読みやすい、様々な情報により合併した霧島市を誇りに思い活性化に期待するなどの意見が寄せられる一方、市の事業や施策に対して率直な意見や要望が市民から寄せられている。	

事務事業名	広報きりしま発行事業	所属部	総務部	所属課	広報広聴課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市の概要、事業等を誌面で伝えることは、行政の活動内容が明らかになることに結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市の概要、事業等を市民に伝えることは行政の責務である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象については、霧島市の情報を知るべき市民としており、適切である。また、本事業は広報誌によって市の情報を広く周知するためのものであり、意図についても適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ よりわかりやすく、より伝わりやすい誌面づくりにより、広報きりしまを読んでいる人の割合を高めることができると考える。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市民が市の情報を入手する機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 取材や情報提供資料を共有することで、ホームページ、テレビ・ラジオ広報の情報力が高められる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は主に印刷製本費である。委託事業であり印刷部数が確定しているので削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 情報提供を受ける際のデータを、編集時の文字構成に近づけることにより、編集に関する業務量を減少させることができる。 また、計画的な取材編集により、業務量の偏りを平準化することができる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 自治会を通じた配付やスーパー・公共施設への配置により、全ての世帯に広報誌が行きわたるようにしているので、受益機会は公平。また、市の情報を広く提供する事務なので、受益者負担を求める性格のものではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	よりわかりやすく、より伝わりやすい誌面づくりにより、さらに多くの人に広報きりしまを読んでもらえるよう努める必要がある。 また、計画的な取材編集や職員から情報提供を受ける際のデータ様式の使用徹底により、更に業務量を削減する余地がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 年間計画を策定し、より計画的な取材を行うことにより、情報収集のための取材時間を短縮させる。また、発行後においてグループ内で振り返りを行い、反省点を生かすことでよりよい誌面づくりと個々の技術力向上へつなげる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 月2回の発行のため、常に取材編集の繰り返しを行っている。改革改善を実現するために、具体的な検討時間を設定する必要がある。そのために編集会議を重要業務として位置付ける。																						

No.	140-040	事務事業名	市勢要覧発行事業				所属部	総務部
							所属課	広報広聴課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	緒方祐二
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	広報グループ
	基本事業名	04	行政運営の透明性の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	05	14010	広報広聴費		

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

霧島市の市勢状況を冊子にまとめる。
 市民憲章・市の宣言、歴史や文化をはじめ、生活・福祉など各種事業の取り組み、自然豊かな霧島の様子を写真、説明、データにまとめ、市の概況をわかりやすく誌面で伝える。毎年度、最新のデータを収録した改訂版を発行している。
 業務の手順としては以下のとおり。
 最新データの情報収集 誌面構成及び掲載写真検討 誌面編集 印刷会社へ校正内容提出 印刷納品 各部局及び主要公共機関へ配布 (対象からの要望に応じて無料で提供)

事業期間

単年度のみ
 単年度繰返
 ↳ (H 18 年度 ~)
 期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
20年度実績 (20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 発行回数	回
21年度計画 (21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 発行部数	冊
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	霧島市民、行政視察・研修・交流事業参加者	ウ	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	市勢要覧を読むことにより、霧島市を理解してもらう	対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	行政の活動内容が明らかになる	ア 発行部数	冊
		イ	
		ウ	
		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 配布数	冊
		イ	
		ウ	
		上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)	
		ア 市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,680	2,037	1,449	1,260	
		事業費計 (A)	千円	1,680	2,037	1,449	1,260	
活動指標		ア 回	1	1	1	1		
		イ 冊	5,000	5,000	3,000	3,000		
		ウ						
対象指標		ア 冊	5,000	5,000	3,000	3,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 冊	4,300	4,000	4,000	4,000		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	53.1	54.2	61.1	62.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 合併に伴い、霧島市として平成18年度から作成。

事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 特になし。

この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？
 市勢要覧を読んだ方から、市の状況や概要がわかりやすい、見やすくコンパクトにまとめてある、市の概要説明を行う際に便利である、統計のデータをもっと詳しく掲載してほしい、といったご意見をいただいている。

事務事業名	市勢要覧発行事業	所属部	総務部	所属課	広報広聴課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 市の概況を市勢要覧により理解してもらうことは、行政の活動内容が明らかになることに結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市の概況を的確に伝えることは行政の責務である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 最新のデータを基に市の概況を伝え、行政の活動内容を明らかにするためのものであり、意図についても適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 毎年度内容を検討し、新たな事業の特集など、改訂版の作成で見直しを行っている。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市の概況を理解してもらう際の有効な手段が減少する。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 広報きりしま発行事務事業、観光冊子 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 市勢要覧は市の概況の説明、広報誌は市からのおしらせや身近な話題の提供、観光冊子は観光に特化した紙面と、それぞれ特徴があるので、必要な情報を的確に伝えるためには現行の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は主に印刷製本費である。委託事業であり印刷部数については前年度配布状況をもとに調整しているため削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 平成20年度においては、現行版の一部改訂であり、取材・編集にかかる業務時間はほとんどないため、削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市勢要覧を必要とするすべての人に提供しているので、受益機会は公平である。 なお、受益者負担が発生しないように、ページ数を極力減らし、1部あたりの単価を下げている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後とも、単年度改訂により常に内容の充実を図り、発行していく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	140-070	事務事業名	出前講座実施事業				所属部	総務部
							所属課	広報広聴課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	緒方祐二
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	広聴グループ
	基本事業名	04	行政運営の透明性の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	05	14010	広報広聴費		
霧島市出前講座実施要綱								

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
出前講座とは、市職員等が地域に出向き、市民に市政に対する理解を深めてもらう講座。 出前講座のメニューを広報誌・ホームページ・チラシ等で紹介し、グループ・団体を申し込んでもらい、申込者が主催する集会等に職員等を講師として派遣する。グループ・団体とは、市民等で構成する10人以上のグループ・団体であり、市民等とは、市内に住所を有する者、市内の事務所・事業所勤務者、市内の学校に在学する者である。出前講座の開催日時は、12月29日から1月3日までの日を除く午前9時から午後9時までのうち2時間としている。また、開催場所は、霧島市内。 広報広聴課は出前講座の総括を担当している。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 当初54講座を開設し、途中2講座を追加し、56講座とした。		ア	講座数
			件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	講座の開催回数(延べ)
前年度と同様 出前講座メニューの見直しをし、60講座を開講する。			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ	講座の受講者数(延べ)
市民等(市内に住所を有する者、市内に事務所又は事業所を有する者、市内の事務所又は事業所に勤務する者、市内の学校に在学する者)			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市政に対する理解を深めてもらう		名称	
		ア	人口
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
行政の活動内容が明らかになる		名称	
		ア	講座内容を理解された市民の割合
		イ	%
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			10	9	
	事業費計(A)	千円	0	0	10	9		
活動指標		ア	件		56	60		
		イ	回		169	175		
		ウ	人		7,124	7,200		
対象指標		ア	人		127,450	128,383		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%					
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%		61.1	62.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
文部省が生涯学習に対する施策を打ち出し、合併以前は平成元年に旧隼人町が生涯学習の推進と町政を説明する事業として取り組んでいた。合併後、市の事務事業の中から、出前講座に該当する事業を取りまとめ、平成20年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
市政に対する説明責任を果たすことが求められてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
受講者から市政を説明してもらいたいという意見があった。	

事務事業名	出前講座実施事業	所属部	総務部	所属課	広報広聴課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 市の事務事業・市政について、職員が地域に出向いて説明するものであり、それによって市政に対する理解を深めてもらうとともに、行政の活動内容を明らかにできる。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市政についての説明であり、市職員が説明することが妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市民等を対象に、市政に対する理解を深めてもらうことにしているので、適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 受講者に対してよりきめ細やかな説明をすることで、市政に対する理解度を更に深めてもらうことができる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民等に対して市政について説明する機会が減少するため、市の活動内容が市民に行き届かなくなるおそれがある。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ 各種説明会、市長と語る会、ご意見箱 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 事務事業の担当課で開催する各種説明会で市政について説明することはできるが、事務事業が限定されるため、出前講座すべてのメニューをカバーできない。ご意見箱や市長と語る会は、市民等からの意見を市政に反映したり、回答することで市政について理解してもらうものであるが、趣旨・内容が異なる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費はチラシ作成等の最小限の経費であり、削減の余地がない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど) 広報広聴課での処理業務は総括であり、人件費の削減はきびしい。ただし、利用者の利便性を考慮して、派遣日時を12月29日から翌年の1月3日までの日を除く、午前9時～午後9時までの間で2時間以内としているので、削減の余地はあるが、それによる成果への影響を検討しなければならない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? グループ・団体が主催する催しに講師を派遣するものであり、市民等であれば、誰でも申込できるので、受益機会は公平である。また、市政に対する理解を深めてもらうための事業なので、すべて無料で開催しており、受益者負担に関しても公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	出前講座受講者に対してよりきめ細やかな説明をすることで、市政に対する理解度を更に深めてもらうことができる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<改革改善案> 現在、出前講座を開催した際にアンケートを取っていない。アンケートを取ることで、受講者に理解されなかった内容を把握し、その部分をきめ細やかに説明することで、市政に対する理解度を更に深めてもらう。																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								